



## 第6回 心を育てる地域と世代間部会

### 【摘録】

日時：平成25年4月17日(水)18:15~20:30

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：大槻部会長】

#### 1 出席確認

欠席委員：なし

#### 2 前回会議の内容の確認

別紙配付資料に基づき確認

#### 3 具体的な提案の検討

- 関係者出席：施策や取組の現状について報告。意見やコメントを受けた  
宮前市民館 植村担当部長（市民館長）  
…市民館の役割、夏休み子ども遊びランド等について  
宮前区役所こども支援室学校地域連携 市川担当課長  
…学校支援センターの取組、実情等について
- 意見交換→別紙のとおり意見集約
- 第五回部会で議論となった提案の方向性としては  
① 既存活動の支援 ② 区民会議で新しい仕組みを提案  
どちらも必要に応じて並行して検討することとなった。
- 審議のための情報が不足。今後、資料や参考事例を事務局から提示することに。

#### 4 第5回区民会議全体会（5月15日）での報告内容について

部会長・事務局に一任

#### 5 みやまえ探検！発見！ウォークラリー トークラリーの感想等

事前に記載いただいたアンケート用紙の回収。別紙のとおり集計  
未提出の委員には後日提出をお願いした

#### 6 今後の日程

第7回 5月28日（火）18時15分~20時15分 区役所4階第1会議室

# テーマ：心を育てる地域・世代間交流

## 【総論】

世代間交流で最も伝えたいのは民俗文化等でなく、それぞれの世代の体験の共有、人のつながりの実感。その為の課題や理想の場について、掘り下げた議論を行った。また世代間交流を通じて、伝承の後継者やリーダーを育てていく視点、親子一緒に体験することの重要性などが、改めて強く示された。

## 【キーワード】

心の教育、世代継承、親子一緒に体験、感動体験の共有、まちのプロデューサー

## 夏休み子ども遊びランド（市民館イベントの紹介）

- 夏休みに様々な遊びの達人が子どもたちに遊びを伝授。平成14年～。氷遊びなど特徴のある企画も
- 昨年度は障害者の達人も登場（フリフリダンス講座）。幅広い世代間交流、地域活動参加のきっかけ
- 来場者3000人、運営側約190人。宮前区内の全小学校にチラシを配布。企画委員募集中

## 課題は何か？

- 既存の活動やイベントの内容・運営メンバーの固定化・高齢化（田浪）
- 遊びなどを教えられない空白の世代。活動や伝承の後継者の育成（豊島・太田）
- 新たな人材の発掘・地域レベルで。町内会等へ協力を依頼してはどうか（平井・大槻）  
→町会等への依頼は具体的な活用方法・長期的な個人情報管理方法など区民会議で固めてからでないと難しい（事務局）

## どのような場が必要か？ 理想か？（目指すものや方向性）

- 親子で一緒に体験できる場。感動体験の共有、そしてそこに高齢者もいる（平井）
- 様々な活動のリーダーが交流し、視野を広げ、まちの総合プロデューサー的視点を獲得する場（宮崎・田浪・豊島）
- イベントなどの運営をうまく市民の自立運営につなげるノウハウの獲得。社協のハンディキャップスキーが好例（太田）
- 長年続けられている良い活動をもっと知ってもらうための広報・情報発信（平井・豊島・宮崎）
- 小中学生の間に他人や友達とのつながりを実感し、誰かに相談できる場・環境づくり。（直本）
- 世代交流の目的が達成できればツールは何でも良い。既存の仕組みを発展・拡大支援する（田浪・大槻・豊島）

## 取り組む上での留意点は何か？

- やりっぱなしや流行りすたりではなく、少しずつでも地道に続け、広げていくしくみ継続性（平井・豊島）
- 既存の活動やイベントの関係者にとって「余計なお世話」とならぬよう（平井）
- それぞれの地域や学校の条件・環境・人材への配慮（大槻・平井）
- 誰でも参加できるように。特殊な技術や才能が無くても活動できるものがよい（田浪）
- 身近な地域から起こしていく。あいさつなど日常の触れ合い・交流から（佐藤）
- 地域のニーズからの吸い上げ（田浪）

## 次世代に何を伝えたいのか？

- それぞれの世代の体験から、次世代に伝えたいもの（直本）
- 伝承遊びも文化と捉えられる。メンコのコツや遊び歌など薄れてしまっているものがある。（山下・豊島）
- 自然とのふれあい。自然体験。自然体験が乏しい親・子どもが増えてきている。（平井）

## 具体的な場の取組（案）…次回の部会で各自持ち寄る

- 各地域で昔語りなどを通じて、地域史を掘り起こしまとめていく活動（山下）
- 頑張っている活動の表彰・元気づけ（宮崎） →選定基準等が難しい（平井）
- 各学校で行われている良い取組の普及・拡大（直本） →地域や学校の条件・環境・人材への配慮が必要（豊島）
- 民生委員など地域で活動しているが、学校との接点が少ない人を学校に招いて交流会（豊島）
- イベント参加者を運営側にしていくような段階的講座・しくみの提案。例えば子ども遊びランドで達人の技を会得し、伝える側を母親が体験・参加できるような講座など。（田浪）
- ネイチャーゲームを宮前区の公園で。（平井）